

北海道 斜里町

©ゆりの休日

次期「斜里町総合計画」基本テーマ

みんなで一緒に取り組む持続可能なまちづくり

Shiretoko shari town

- Hokkaido -

北海道 斜里町



introduction

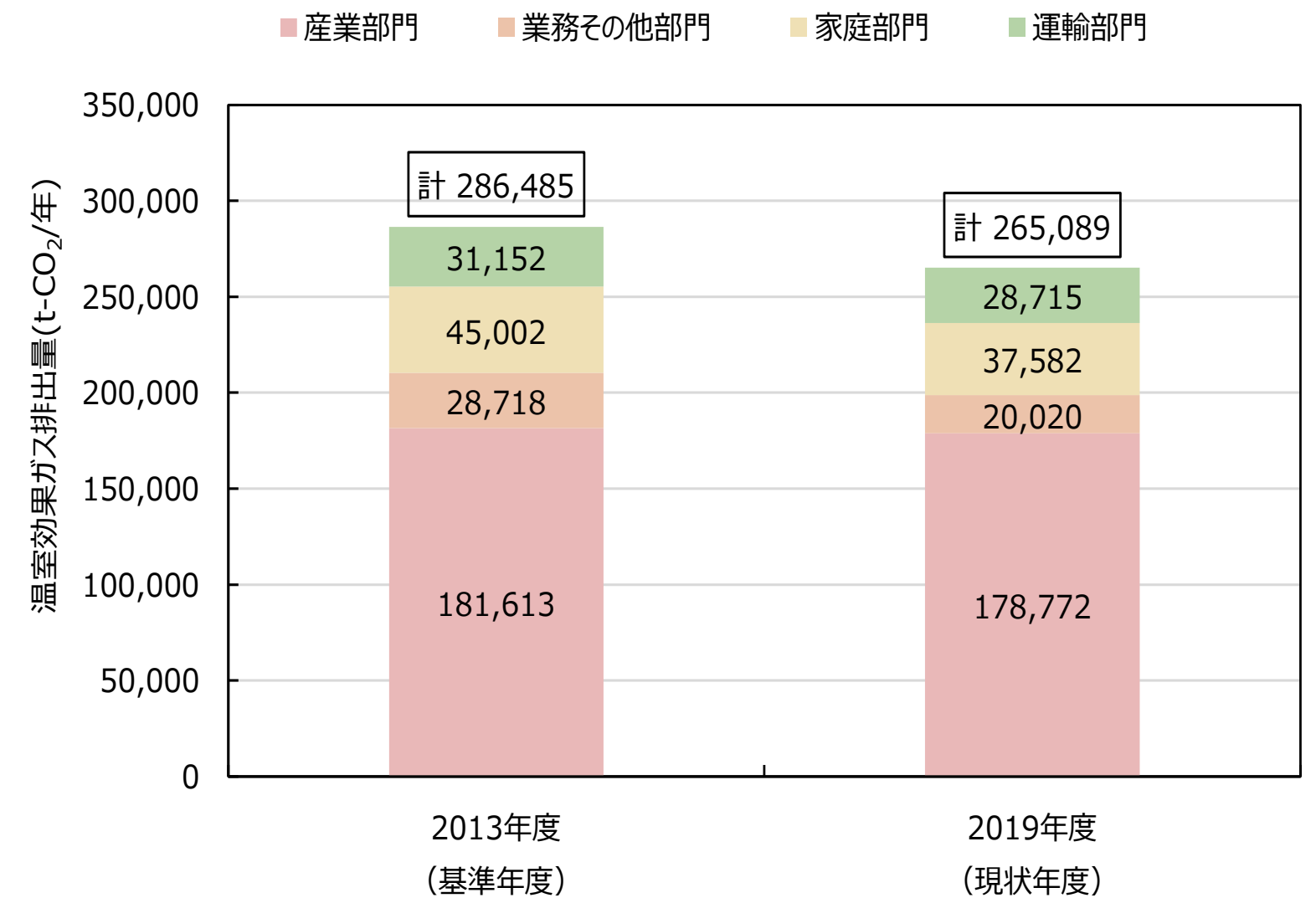
斜里町

10,818人(5,531世帯) R5.9末

農業(馬鈴薯・小麦・甜菜)	115億円
漁業(サケ・マス・ホッケ・きちじ)	52億円
観光業	61億円

知床半島を有しており、
知床国立公園・世界自然遺産地域を有するまち

農業・漁業・観光業の3産業が基幹産業であり、
1次産業に関連する製造業・加工業も盛んな町です。



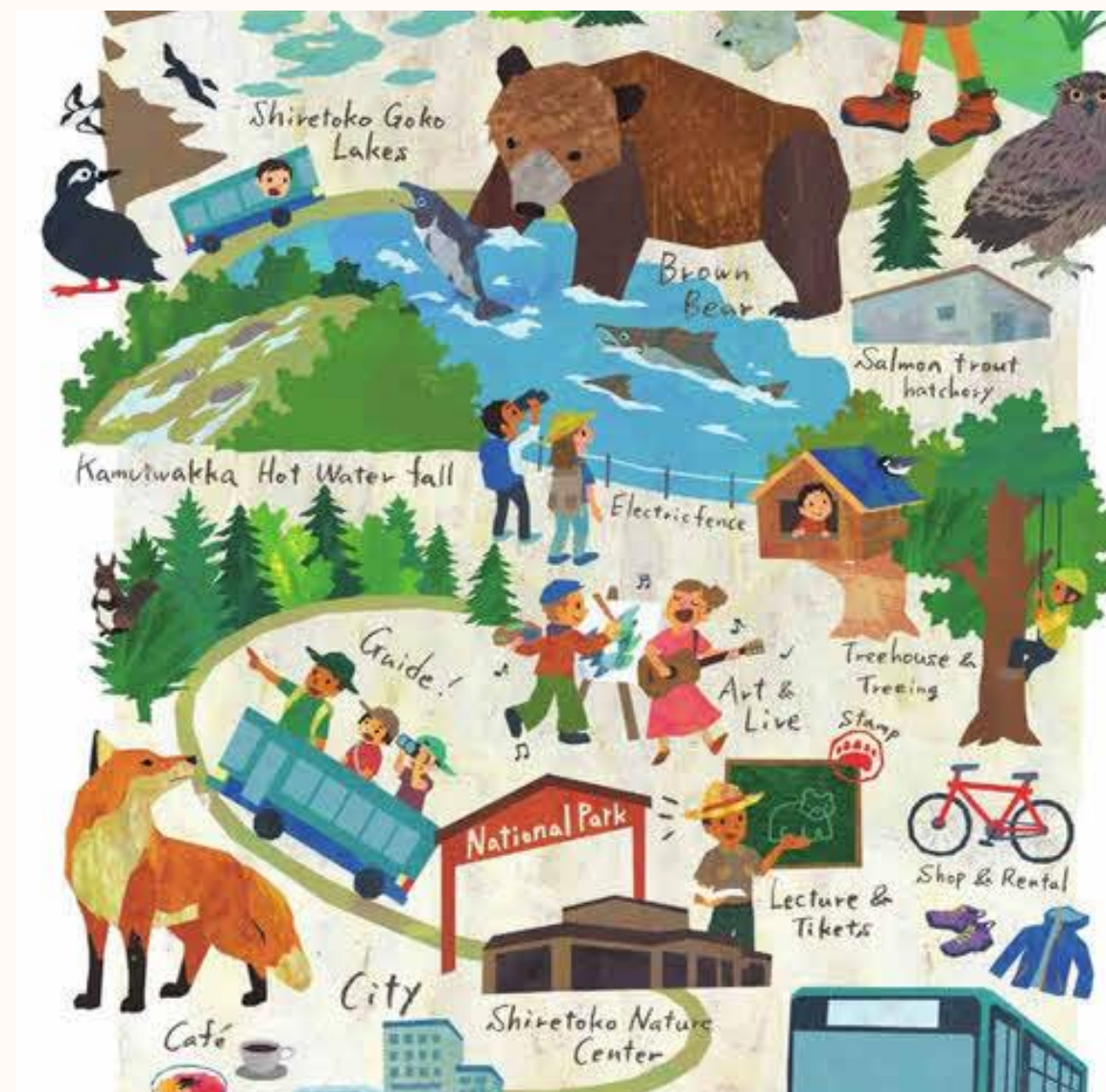
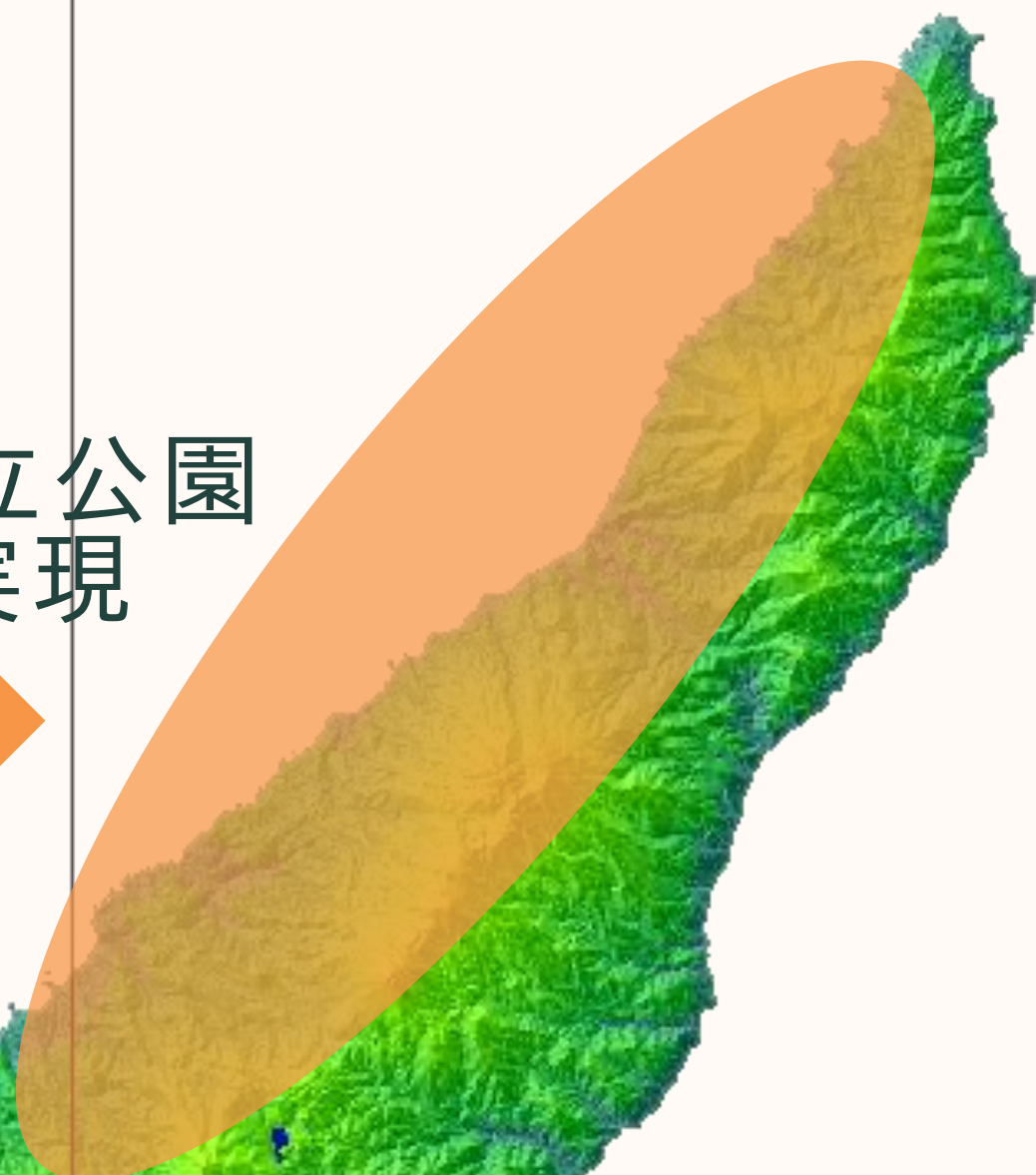
斜里町における温室効果ガス排出量の現況推計結果

Problem

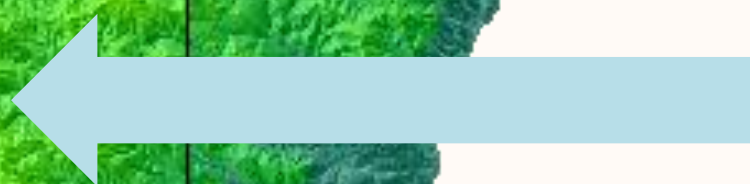
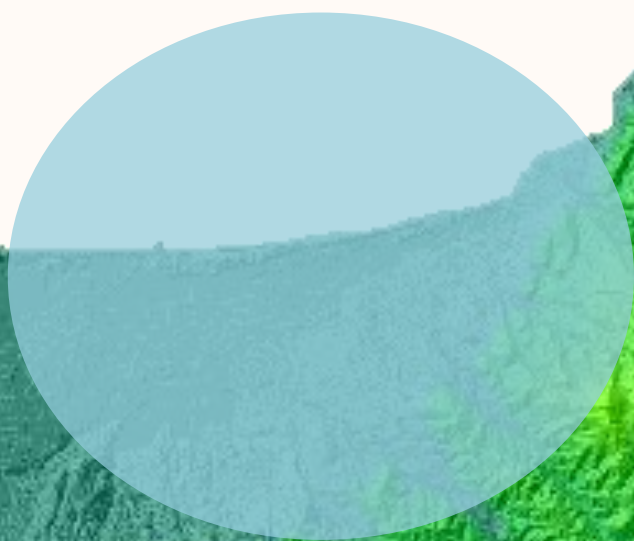
◎知床世界自然遺産・国立公園
エリアでのゼロカーボン実現



- ◎生態系や景観との両立
- ◎持続可能な観光利用



◎知床半島基部穀倉地帯・農水産物加工製造エリアでのゼロカーボン実現



- ◎家庭・事業所での省エネ技術の導入
- ◎家庭・事業所での再エネ発電施設の導入

どちらのエリアにおいても、生態系や景観には十分配慮した上で脱炭素を進めたい！

Challenge

◎知床半島基部の 穀倉地帯・農水産物加工製造エリアでは

- 環境・景観配慮型再エネ発電設備の導入
- 農林水産業・加工業における脱炭素推進
- 持続可能性を意識した地域社会の実現

◎知床半島 世界自然遺産・国立公園エリアでは

- ゼロカーボンパークの実現
- 観光の脱炭素、持続可能な産業モデルへ
- 交通・宿泊における具体的脱炭素の取組

斜里町再生可能エネルギー導入戦略より



Initiative

これまで

- H30～R5 学童保育や小学校で環境教室
- R4 「斜里町再生可能エネルギー導入戦略」策定
- R5 公共施設再エネ導入調査実施中（太陽光・小水力）
- R5 北海道大学公共政策大学院「ゼロカーボンパーク施策」検討実施中
- R5 企業連携 人材育成・行動変容・環境教育分野等

展望

- 電力ネットワーク:地域内電力循環
- 広域(観光圏)での移動手段の脱炭素化
- 工業地区の脱炭素化(再エネやグリッド化) など

Task

◎環境配慮型再生エネルギー

強い風や強度問題：既存建物の屋上等への設置は難しい

国立公園・世界自然遺産地域：野立て太陽光は現実的ではない

◎移動の脱炭素化

個人観光メイン：空港 → レンタカー約100km 渋滞も…

◎製造・加工業(農業・水産関係)の再エネ発電、電力融通

複数工場が隣接

◎町民や観光客の「行動変容」には？

Please

名刺交換フォーム
(写真をお送り下さい)



- ① 景観や生態系配慮型の再エネ発電、省エネ設備・技術。
- ② 交通や宿泊施設等も含めた観光の脱炭素。
- ③ 農林水産業・生産物加工における脱炭素・省エネ技術。
 - ベロブスカイト型太陽電池・建材封入型太陽電池・マイクロ小水力・バードストライクが発生しない風力発電 脱炭素型公共交通etc...。
 - 脱炭素に関わる御社の新技術の実証実験の場としてご検討を！
 - 特に世界自然遺産登録地内では、脱炭素に関連する新技術や取組みの教育啓発の場としての活用も！

斜里町のまちづくりの理念は「みどりと人間の調和を求めて」です。

Collaboration

事例：自然再生・生物多様性保全の取り組みを全国の皆さん、そして企業様と連携して実施してきました。

1977年～

国立公園内に残された開拓跡地を保全するナショナルトラスト運動スタート。

1997年～

植林された土地をより生物多様性の高い自然林に復元する森づくりがスタート。



2002～2006年

公益財団法人
イオン環境財団 様



2011年～

ダイキン工業
株式会社 様



2019年～

株式会社
ゴールドウイン 様



2022年～

株式会社
ヤママップ 様



AND MORE...

Collaboration

これまでの生物多様性保全等での取り組みと同様に、脱炭素分野においても、先進的な事例を企業様と共に実現してまいりたいと考えております。



ご清聴ありがとうございました

名刺交換フォーム
(写真をお送り下さい)

